

【別紙】

給与費設定の考え方

1) 給料

- ① 令和元年度の市立病院における支給実績（7～3月分、賞与は除く。）に対する月平均額をもとに年額（12ヶ月分）を算出
 $1,014,103 \text{ 千円} / 9 \text{ ヶ月} \times 12 \text{ ヶ月} = \underline{1,352,138 \text{ 千円}} \dots A$
- ② 賞与分として、令和元年度支給実績（12月分）を基に年間支給額（6月、12月支給）を算出
 $137,501 \text{ 千円} \times 2 \text{ 回} = \underline{275,003 \text{ 千円}} \dots B$
- ③ 今後の職員増加分として令和2～5年度の間で5名相当分の金額を各年度に加える。
 $\underline{30,000 \text{ 千円}} \dots C$
- ④ さらに、新病院開院後の職員増加分として令和6年度から各年度に5名相当分の金額を加える。
 $\underline{30,000 \text{ 千円}} \dots D$
- ⑤ 令和2～5年度の給料 $A + B + C$ $\underline{1,657,141 \text{ 千円}} \dots E$
令和6年度以降の給料 $D + E$ $\underline{1,687,141 \text{ 千円}}$

2) 退職給付引当金

- ① 令和元年度の市立病院における支給実績（7～3月分）に対する月平均額をもとに年額（12ヶ月分）を算出
 $77,887 \text{ 千円} / 9 \text{ ヶ月} \times 12 \text{ ヶ月} = 103,849 \text{ 千円}$
- ② ①で算出した額に会計年度任用職員制度等による費用増加を見込み1.1を乗じる。
 $103,849 \text{ 千円} \times 1.1 = \underline{114,234 \text{ 千円}} \dots F$
- ③ 給料で設定した職員増加分に対する費用を令和2～5年度の各年度に加える。
 $\underline{300 \text{ 千円}} \dots G$
- ④ さらに新病院開院後の職員増加分に対する費用を令和6年度以降の各年度に加える。
 $\underline{300 \text{ 千円}} \dots H$
- ⑤ 令和2～5年度の給料 $F + G$ $\underline{114,534 \text{ 千円}} \dots I$
令和6年度以降の給料 $H + I$ $\underline{114,834 \text{ 千円}}$

3) 法定福利費

- ① 令和元年度の市立病院における支給実績（7～3月分）に対する月平均額をもとに年額（12ヶ月分）を算出
 $155,642 \text{ 千円} / 9 \text{ ヶ月} \times 12 \text{ ヶ月} = 207,522 \text{ 千円}$
- ② ①で算出した額に会計年度任用職員制度等による費用増加を見込み1.1を乗じる。
 $207,522 \text{ 千円} \times 1.1 = \underline{228,275 \text{ 千円}} \dots J$

③ 給料で設定した職員増加分に対する費用を各年度に加える。

500 千円・・・K

④ さらに新病院開院後の職員増加分に対する費用を令和6年度以降の各年度に加える。

500 千円・・・L

⑤ 令和2～5年度の給料 J + K 228,775 千円・・・M

令和6年度以降の給料 M + L 229,275 千円

【別紙】

資本的収支にかかる前回（H30.12/17）からの見直し項目

- 工事費の増加 全体工事費を債務負担行為上限額 85 億円に設定、前回比 5 億円増

（単位：千円）

	変更前	変更後
本体工事費	7,242,000	7,742,000
立体駐車場工事費	586,000	586,000
連絡通路工事費	104,000	104,000
外構工事費	68,000	68,000
計	8,000,000	8,500,000

- 医療情報システム 前回比 約 4.5 億円増

これまで

- ・新病院開院時に新規導入分として約 3 億円を見込む。
- ・新病院開院後、耐用年数の 6 年でシステムが更新できるよう毎年 5,000 万円を計上



今回見直し

- ・市立病院開院後、情報システムに関する院内ヒアリング等により、新たに導入を計画する必要があるシステム費を計上
- ・当初新病院開院時には既存システムは継続して使用するとしていたが、市立病院開院後に更新時期が新病院開院前に到来することが判明したことにより更新整備が必要となったシステムを計上
- ・新病院開院後は、新規、更新整備した情報システムを概ね 8 年で更新が可能となるように毎年 1 億円ずつ計上

今回見直した主な情報システムと概算費用

1. 新たに導入を予定する情報システム 約2億円
 - ・麻酔管理システム 40,000 千円
 - ・眼科カルテシステム 18,000 千円
 - ・指導管理算定フォローシステム 19,000 千円
 - ・細菌検査システム 12,000 千円
 - ・電話交換システム (PBX) 20,000 千円
 - ・データ保管システム 25,000 千円

2. 更新が必要な情報システム 約2.5億円
 - ・電子カルテシステム 180,000 千円
 - ・電子カルテと既存部門システムとの連携 30,000 千円
 - ・院内基幹ネットワーク 33,000 千円